

学校評価システムのよさを生かして 学校改善につながる実践を重ねる



静岡市立豊田中学校
高橋 照枝

1

内容

- 静岡市の学校評価システム
- 城山中学校での実践
- まとめ

2

静岡市の学校評価システム

1 静岡市の学校評価

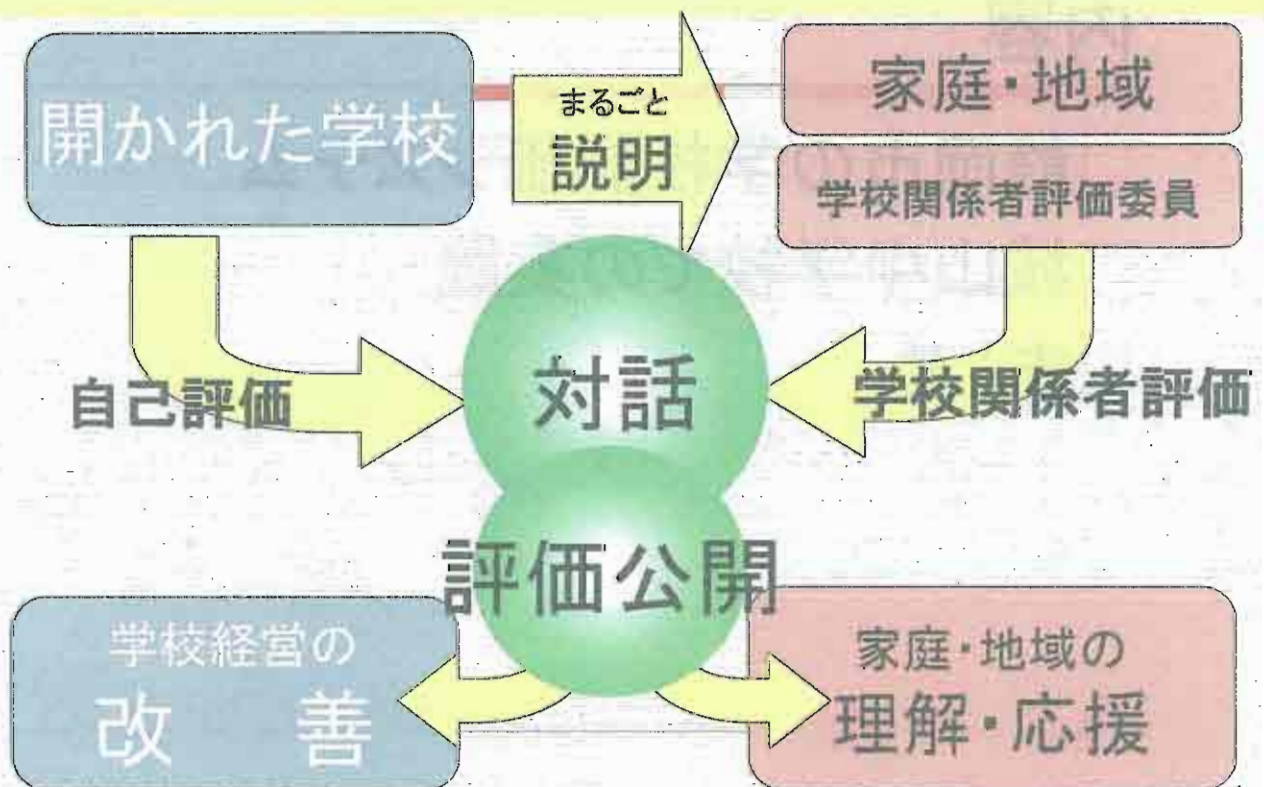
□ 目的

- 学校も地域も元気になる
- 継続的な経営改善

□ 取組

3

取組の全体像



4

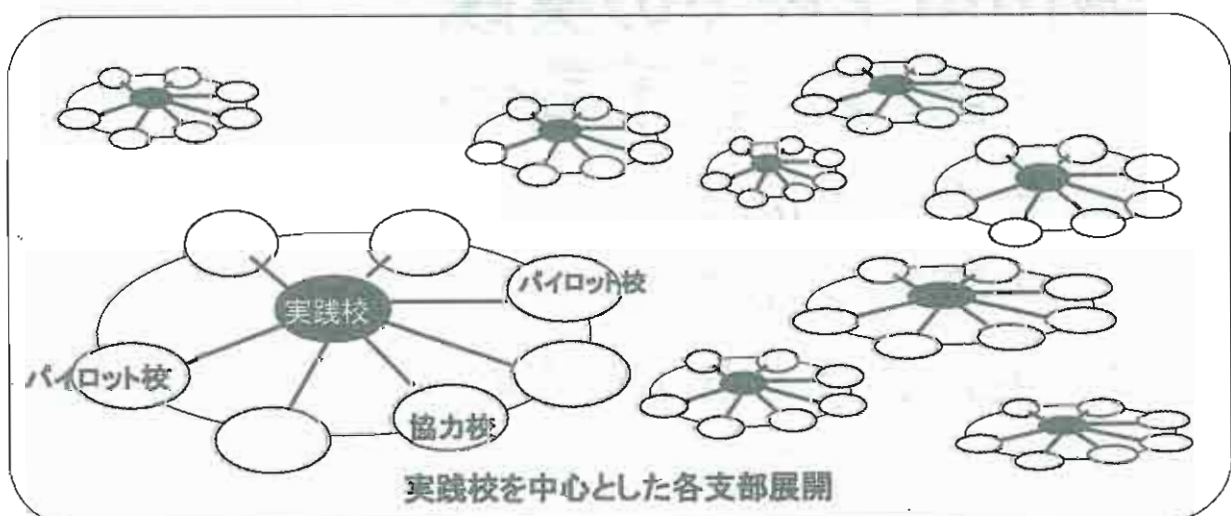
静岡市の学校評価システム

2 システム構築の体制づくり

- 協力校・実践校を中心とした研究推進
- 全校対象の学校評価研修会
- 学校関係者評価委員学習会の開催
- 各支部の自主的な推進

5

市内14ネットワークの確立



- ・情報を共有
- ・取組の進捗把握
- ・アドバイス、心理的セーフティネット

6

静岡市の学校評価システム 評価書の項目

I 経営の重点に関わること

各学校の重点目標から中項目・指標を設定

II 各指導部・領域等に関わること(指定10大項目、共通中項目を設定)

1 教育課程・学習指導

2 生徒指導

3 進路指導

4 安全指導・管理

5 保健指導・管理

6 特別支援教育

7 組織運営

8 研修

9 保護者・地域住民との連携

10 施設・設備

III 各学校の特色においては、独自に目標・指標を追加

7

城山中学校での実践

- 1 目的をとらえて計画する
- 2 重点化をはかる
- 3 組織を活かす
- 4 PDCAサイクルをまわす
- 5 学校をひらく
- 6 学校改善につなげる
- 7 成果と課題

8

1 目的をとらえて計画する

- 学校の自己評価
今までの新年度対策
- 学校関係者評価・結果の公表
客観性を持たせる
学校を理解してもらう
学校が元気になる

9

2 重点化をはかる

〈資料1〉・評価指標

- 重点目標中心の指標
めざす子どもの姿であらわす
言葉は短く、わかりやすく
手だては自己評価で活用する

10

3 組織を活かす

- 職員会議
 - 三部長会
 - 分掌部会
 - 主任会
 - 学年部会
-

11

4 PDCAサイクルをまわす

- 年2回、評価の実施
(9月中間評価、12月自己評価)
- 自己評価のためにアンケートを実施
職員、生徒、保護者を対象
ステージ毎に実施(年3回・4回)

年度の中でPDCAサイクルをまわす

12

アンケート・資料提示の工夫

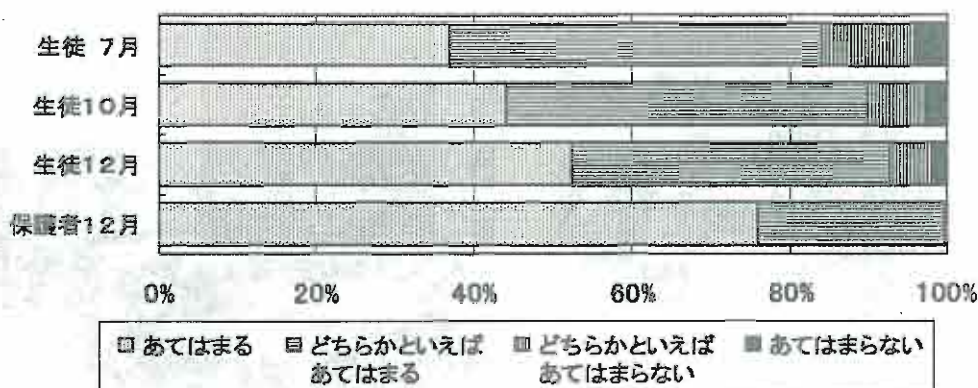
- 職員用 〈資料2〉・職員用アンケート
- 生徒用 〈資料3〉・生徒用アンケート
- 保護者用 〈資料4〉・保護者用アンケート
- 資料提示の工夫 〈資料5〉・自己評価資料

13

5 学校をひらく

アンケート結果の公表(学校だより)

自分にはよいところがあると思う。



14

アンケート結果についての話し合い

・生徒

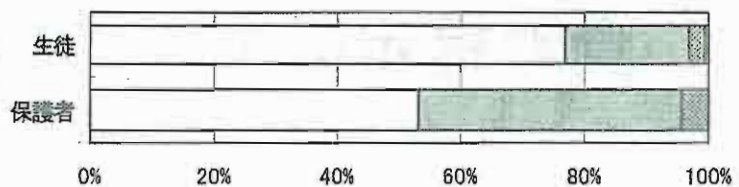
・保護者

- 自己肯定観
- 休日の学習

- 生徒と保護者との差がある項目
- 生徒と同じ項目



人の気持ちのわかる人間になりたいと思う。(12月)



あてはまる
 どちらかといえばあてはまる
 どちらかといえばあてはまらない
 あてはまらない

小学校・地域との話し合い

- 城山中の生徒を語る会(6月)
- 長田南小の子どもを語る会(11月)



学校関係者評価委員会

- 自己評価の学校説明
- 子どものよさを評価



17

6 学校改善につなげる

〈資料6〉学校評価書

- 学校関係者評価を受けての改善策
 - ガイダンスと評価の充実
 - 授業改善
 - PDCAサイクルの実践

18

7 成果と課題

□ 成果

- PDCAサイクル
- 評価委員さんの言葉に励まされた

□ 課題

- 参画意識の向上
 - 保護者や地域とともに子どもを育てる
-

19

まとめ

- 学校と家庭、地域とのつながり
 - PDCAサイクルによる学校改善
 - 教育委員会による支援
 - 学校・子どもを評価する難しさ
-

20

〈資料1〉

平成22年度 学校評価書

学校名： 静岡市立城山中学校

I 経営の重点に関わること

1 学校教育目標：心豊かな 活力ある生徒		自己評価	学校関係者評価委員会から	
2 重点目標	自信を持って挑戦する生徒 ～「自分のよさを自覚し伸ばそうとする生徒」「互いのよさを認め励まし合う生徒」を通じて～	①自分の疑問や課題の解決を目指し、あきらめないで粘り強く取り組む。		
		【学校説明】		
		②自分の役割を意識して充実感のある清掃活動ができる。		
		【学校説明】		
		③生徒会活動や地域との活動の意義を理解し、自らの考えを持って取り組む。		
		【学校説明】		
		④自分を信じ、友だちを信頼する気持ち（心）を持つ。		
		【学校説明】		
		【学校関係者評価を受けての学校の改善策】		

II 各指導部・領域等に関わること

大項目	中項目	評価指標	自己評価	学校関係者評価委員会から
1 教育課程 学習指導	(1)確かな学力の育成 【市共通項目1】	①わかった、できた、もっとやってみたい等、授業で学びのおもしろさを感じる。		
		【学校説明】		
		【学校関係者評価を受けての学校の改善策】		
	(2)道徳教育の充実 【市共通項目2】	①自他のよさを見つげたり認めあったりして、温かい集団をつくろうという意識を持って生活する。		
		【学校説明】		
		【学校関係者評価を受けての学校の改善策】		
	(3)特別活動の充実 【市共通項目3】	①継続的・創造的に取り組み、縦割りの集団を通して団結力を高める。		
		【学校説明】		
		【学校関係者評価を受けての学校の改善策】		

氏名

・①～⑥は学校評価書の指標であり、主に子どもの姿としてどうかをA～Dで評価してください。
 ・各指標の下の・～は分掌から出された手だてです。これについてもA～Dで評価し、○をつけてください。ただし、自分がやっているからではなく、学校として組織としてどうか（Aである等）わかる範囲で書いてください。
 ※記入し、12月16日（木）までに高橋へ提出してください。

I 経営の重点に関わること

1 学校教育目標：心豊かな 活力ある生徒		あてはまる	どちらか といえば あてはまる	どちらか といえば あてはま らない	あてはま らない	
2 重点 目標	自信を持って挑戦する生徒～「自分のよさを自覚し伸ばそうとする生徒」「互いのよさを認め励まし合う生徒」を通じて～	①自分の疑問や課題の解決を目指し、あきらめないで粘り強く取り組む。 ・学習意欲を持たせ、授業のルールを守るように指導している。 ・生徒が具体的な学習計画を自分で立て、それを実行できるように指導している。 ・お互いに意見を言い合い聞き合うことで、自分たちの考えを深める授業を展開している。	A	B	C	D
		②自分の役割を意識して充実感のある清掃活動ができる。 ・生徒が分担場所に素早く移動できるように声をかけ、自分も移動している。 ・生徒が分担場所がきれいにするために最後まで作業していることを見届けている。 ・生徒と共に終了時に反省を行い、生徒が元気よく挨拶できるようにさせている。	A	B	C	D
		③生徒会活動や地域との活動の意義を理解し、自らの考えを持って取り組む。 ・生徒が見通しを持った活動ができるよう、計画的な指導をしている。 ・生徒が様々な活動の中で、経験の場、多くの人と交わる場となるよう意図的な指導をしている。 ・生徒に目標を持たせ、自分たちの手でつくり上げていこうとする支援・指導をしている。	A	B	C	D
		④自分を信じ、友だちを信頼する気持ち（心）を持つ。 ・生徒を大切に声かけや指導をしている。 ・生徒が自分のよさや特長に気づくような働きかけをしている。 ・係活動のなかで、協力態勢ができるように支援・指導している。	A	B	C	D

II 各指導部・領域等に関わること

大項目	中項目	評価指標	あてはまる	どちらか といえば あてはま る	どちらか といえば あてはま らない	あてはま らない
1 教育 課程 ・ 学習 指導	(1) 確かな 学力の 育成	⑤わかった、できた、もっとやってみたい等、授業で学びのおもしろさを感じる。 ・復習を含む、授業の導入を工夫している。 ・本時の課題(や問題)を提示し、生徒に学習の方向性を明確に示している。 ・確認テストに向けた計画作りや学習講座、テスト後の復習等学習習慣育成の支援をしている。	A	B	C	D
	(2) 道徳教育の 充実	⑥自他のよさを見つけたり認めあったりして、温かい集団をつくろうという意識を持って生活する。 ・生徒が、自分のよさに気づけるように、称揚や励ましの言葉をかけている。 ・生徒の努力や頑張り、よさを集団全体に伝え、共感しあう雰囲気をつくっている。 ・道徳コーナーをつくり、活用している。	A	B	C	D
	(3) 特別活動の 充実	⑦継続的・創造的に取り組み、縦割りの集団を通して団結力を高める。 ・生徒会活動や行事等の活動の意義を伝えている。 ・生徒一人ひとりに役割を与えることで、集団の中の一人としての自覚を持たせて、活動させている。	A	B	C	D

2	生徒指導	(1) 一人一人を大切にした指導	<p>⑧教師や友だちとの関係の中で自分のよさに気づく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の変化を見逃さず、適時声をかけ、話を聞いている。 ・「しろやま」や教育相談等を通じて、生徒の思いの把握や声かけを常に行っている。 ・生徒の家庭環境や友人関係を理解できるように情報交換をしている。 ・生徒の行動について学年部や学年間、必要であれば関係機関との情報交換をし、個にあった適切な指導をしている。 	A	B	C	D
3	進路指導	(1) 生き方を考える進路指導	<p>⑨生き方を学び、自分の進路に対する希望と適性を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳・学活・総合的な学習や行事等の中で、生き方を考える機会を設定している。 ・教育相談等を生かして、生徒の思いや希望をていねいに聴いている。 ・折に触れ、生き方や進路に対する指導や支援をしている。 ・一人ひとりの将来を考えた個別の進路指導をしている。 	A	B	C	D
4	安全管理・指導	(1) 学校安全システムの構築	<p>⑩校内の安全な環境整備の充実をはかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回の安全点検を丁寧に確実にやっている。 ・点検での問題箇所について、速やかに修繕願いを出すなど改善に向けた努力をしている。 ・生徒が安全に登下校し、交通安全マナー・ルールが向上することを目指し、毎月の登下校指導をしている。 	A	B	C	D
5	保健管理・指導	(1) 健康教育の充実	<p>⑪自分の健康を意識して生活する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健だよりや専門委員による呼びかけを活用し、健康や環境衛生について意識させている。 ・生徒の心の健康にも気を配り、必要に応じて適切な指導をしている。 ・養護教諭と連携し、心身の健康管理や環境衛生について、学級または個別に指導している。 	A	B	C	D
6	特別支援教育	(1) 学校の実態に応じた校内支援体制づくりの推進	<p>⑫特別支援教育コーディネーターを中心に、個に応じた支援を進めると共に、学校態勢として機能していく組織作りを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援コーディネーターを中心に、個に応じた支援のための学校(学年)組織が作られている。 ・特別支援コーディネーターを中心に、個に応じた支援・援助が進められている。 ・特別支援対象生徒への個に応じた支援計画をつくり、学校(学年)体制の中で支援の記録を残すように進めている。 	A	B	C	D
7	組織運営	(1) 組織・運営の改善	<p>⑬PDCAサイクルを意識して活動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身が見通しを持ち、PDCAサイクルを意識して取り組んでいる。 ・生徒が知らないことや教えるべきことをきちんと教えている。 ・生徒が見通しを持って活動できるように、継続的に指導している。 ・生徒と共に活動し、見守り、見届けを行っている。 	A	B	C	D
8	研修	(1) 研修体制の充実	<p>⑭生徒の教科における実態を十分に把握し、生徒への対応力を磨く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の充実を目指し、スタート学習に取り組んでいる。 ・授業での生徒の姿や、授業前後のアンケート等から、生徒の教科の実態把握に努めている。 ・生徒の実態把握を授業改善につなげている。 ・日々の授業実践や事後研修を通して、生徒への対応をふり返っている。 	A	B	C	D
9	保護者・地域住民との連携	(1) 信頼される学校づくりの推進	<p>⑮地域の方に喜んでもらえる梅活動や地域あつたか活動を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの活動のガイダンスを行うことで、意義を理解させ、活動を充実させている。 ・クラス毎の活動をすることで、生徒個々がより主体的な活動をしている。 ・地域に貢献することで、成就感や達成感を覚え、更なる活動に結びつけようとしている。 ・活動毎の評価を丹念に行い、生徒が次の活動に生かせるようにしている。 	A	B	C	D
10	施設設備	(1) 教育環境の充実	<p>⑯自然環境や省エネルギーに配慮し、施設や設備の有効活用、資源の再利用に積極的に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境問題や省エネルギーに関心を持って生活している。 ・使用していない教室の電気の消灯、使用していない器具のコンセントを抜くようにしている。 ・印刷は必要枚数に留め、不用となった印刷物はリサイクル、リユースとする。 	A	B	C	D

〈資料3〉

学校生活を振り返って（第3ステージ） 年 組 番 氏名

答は A あてはまる B どちらかといえばあてはまる C どちらかといえばあてはまらない D あてはまらない から選んで○をつける。 NO. 27～29については、あてはまる番号を右のらんにかく。

1 学校教育目標：心豊かな 活力ある生徒		あてはまる	どちらか といえばあ てはまる	どちらか といえばあ てはまら ない	あてはま らない
2 「自分のよさを自覚し伸ばそうとする生徒」「互いのよさを認め励まし合う生徒」を通じて	1 自分にはよいところがあると思う。	A	B	C	D
	2 人の役に立つ人間になりたいと思う。	A	B	C	D
	3 学校に持って行くものを、前日かその日の朝に確かめている。	A	B	C	D
	4 自分で計画を立てて勉強をしている。	A	B	C	D
	5 テストで間違えた問題について間違えたところを後で勉強している。	A	B	C	D
	6 開始時刻や聞く姿勢を意識して、授業に真剣に取り組んでいる。	A	B	C	D
	7 生活の決まりや交通のルール等を守り落ち着いて安全な生活をしている。	A	B	C	D
	8 生徒会活動や梅活動、学級の係活動など、自分の役割は責任を持って果たしている。	A	B	C	D
	9 友達に会うのは楽しい。	A	B	C	D
	10 友達との約束を守っている。	A	B	C	D
	11 人が困っているときは、進んで助けている。	A	B	C	D
	12 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う。	A	B	C	D
	13 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	A	B	C	D
	14 授業中、互いの考えを聞きあったり、教えあったりして、課題を解決しようとしている。	A	B	C	D
	15 時と場に応じて、気持ちのよいあいさつをしている。	A	B	C	D
	16 学級や学年の友達と、よりよい活動にしようとして協力している。	A	B	C	D
	17 ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。	A	B	C	D
	18 難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦している。	A	B	C	D
	19 将来の夢や目標を持っている。	A	B	C	D
	20 近所の人に会ったときは、あいさつをしている。	A	B	C	D
	21 自分の疑問や課題に対して、あきらめないで粘り強く取り組んでいる。	A	B	C	D
	22 自分の役割を意識し、充実感のある清掃活動をしている。	A	B	C	D
	23 生徒会活動や地域との活動の意義を理解し、自らの考えを持って取り組んでいる。	A	B	C	D
生活習慣・学習習慣	24 朝食を毎日食べている。	A	B	C	D
	25 普段（月曜日から金曜日）、家の人（兄弟姉妹は含みません。）と夕食を一緒に食べる。	A	B	C	D
	26 家の人（兄弟姉妹は含みません。）と学校での出来事について話をする。	A	B	C	D
	27 普段（月曜日から金曜日）、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか。	① 8時間以上 ② 7時間以上8時間より少ない ③ 6時間以上7時間より少ない ④ 5時間以上6時間より少ない ⑤ 5時間より少ない			
	28 学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。）	① 3時間以上 ② 2時間以上3時間より少ない ③ 1時間以上2時間より少ない ④ 30分以上1時間より少ない ⑤ 30分より少ない ⑥ 全くしない			
29 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。）	① 4時間以上 ② 3時間以上4時間より少ない ③ 2時間以上3時間より少ない ④ 1時間以上2時間より少ない ⑤ 1時間より少ない ⑥ 全くしない				

お子様について（保護者用アンケート）

第3ステージ

年 組

現在のお子様の様子について、保護者の方がどのように感じられているのか、記入してください。（わかる範囲でかまいません。）
 答は A あてはまる B どちらかといえばあてはまる C どちらかといえばあてはまらない D あてはまらない
 から選んで○をつけてください。 NO. 24~26については、あてはまる番号を右のらんに書いてください。

1 学校教育目標：心豊かな 活力ある生徒		あてはまる	どちらかとい えばあて はまる	どちらかとい えばあて はまらない	あてはまら ない
2 重点目標 自信を持って挑戦する生徒	1 自分にはよいところがあると思っている。	A	B	C	D
	2 人の役に立つ人間になりたいと思っている。	A	B	C	D
	3 学校に持って行くものを、前日かその日の朝に確かめている。	A	B	C	D
	4 自分で計画を立てて勉強をしている。	A	B	C	D
	5 学校の宿題をしている。	A	B	C	D
	6 生活の決まりや交通のルール等を守り落ち着いて安全な生活をしている。	A	B	C	D
	7 生徒会活動や梅活動、学級の活動など、意欲的に参加している様子が伝わってくる。	A	B	C	D
	8 友達に会うことを楽しみにしている。	A	B	C	D
	9 自分や友達によさや活躍が話題になる。	A	B	C	D
	10 進んで家の手伝いをする。	A	B	C	D
	11 家族に、気持ちのよいあいさつをしている。	A	B	C	D
	12 学級や学年の友だちと、よりよい活動にしようと協力している様子が伝わってくる。	A	B	C	D
	13 将来の夢や目標を持っている。	A	B	C	D
	14 近所の人に会ったときは、あいさつをしている。	A	B	C	D
	15 家で粘り強く学習している様子がみられる。	A	B	C	D
	16 自分の健康や環境衛生について意識して生活している。	A	B	C	D
	17 生徒会活動や地域との活動の意義を理解し、積極的に参加している（様子が伝わってくる）。	A	B	C	D
生活や学習の環境や習慣	18 子どもとの会話やその他の情報から、子どもの学校での様子がわかる。	A	B	C	D
	19 学校の職員や地域の方に、子どものことについて相談できる環境にある。	A	B	C	D
	20 環境問題や省エネルギーに関心を持って生活している。	A	B	C	D
	21 朝食を毎日食べている。	A	B	C	D
	22 普段（月曜日から金曜日）、家の人（兄弟姉妹は含みません。）と夕食を一緒に食べる。	A	B	C	D
	23 家の人（兄弟姉妹は含みません。）と学校での出来事について話をする。	A	B	C	D
	24 普段（月曜日から金曜日）、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか。	① 8時間以上 ② 7時間以上8時間より少ない ③ 6時間以上7時間より少ない ④ 5時間以上6時間より少ない ⑤ 5時間より少ない			
	25 学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含みます。）	① 3時間以上 ② 2時間以上3時間より少ない ③ 1時間以上2時間より少ない ④ 30分以上1時間より少ない ⑤ 30分より少ない ⑥ 全くしない			
	26 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含みます。）	① 4時間以上 ② 3時間以上4時間より少ない ③ 2時間以上3時間より少ない ④ 1時間以上2時間より少ない ⑤ 1時間より少ない ⑥ 全くしない			

その他（ご意見がある場合は、お答えするためにお名前もお書きください。）

名前

I 経営の重点に関わること

ポイント: あてはまる…4、どちらかといえばあてはまる…3、
どちらかといえばあてはまらない…2、あてはまらない…1の

1	学校教育目標：心豊かな 活力ある生徒	あてはまる			どちらかといえばあてはまる			どちらかといえばあてはまらない			あてはまらない			ポイント			グラフ								
		1st	2st	3st	1st	2st	3st	1st	2st	3st	1st	2st	3st	1st	2st	3st	1st			2st			3st		
		0	1	1	12	15	15	6	3	2	0	0	0	2.7	2.9	2.9									
2	2	2	10	13	14	6	4	2	0	0	0	2.8	2.9	3.0											
9	12	9	6	5	8	4	2	1	0	0	0	3.3	3.5	3.4											
2	2	2	12	15	14	5	2	2	0	0	0	2.8	3.0	3.0											
2	2	5	16	17	13	1	0	0	0	0	0	3.1	3.1	3.3											
3	6	8	15	13	9	1	0	1	0	0	0	3.1	3.3	3.4											
3	6	8	15	13	9	1	0	1	0	0	0	3.1	3.3	3.4											

2 重点目標

①自分の疑問や課題の解決を目指し、あきらめないうで粘り強く取り組む。
ア・学習意欲を持たせ、授業のルールを守れるように指導している。
イ・生徒が具体的な学習計画を自分で立て、それを実行できるように指導している。
ウ・お互いに意見を言い合い聞き合うことで、自分たちの考えを深める授業を展開している。
②自分の役割を意識して充実感のある清掃活動ができる。
ア・生徒が分担場所に素早く移動できるように声をかけ、自分も移動している。
イ・生徒が分担場所がきれいにするために最後まで作業していることを見届けよう。
ウ・生徒と共に終了時に反省を行い、生徒が元気づく挨拶できるようにさせている。
③生徒会活動や地域との活動の意義を理解し、自らの考えを持って取り組む。
ア・生徒が見通しを持った活動ができるよう、計画的な指導をしている。
イ・生徒が様々な活動の中で、経験の場、多くの人と交わる場となるよう意図的な指導をしている。
ウ・生徒に目標を持たせ、自分たちの手づくり上げていこうとする支援・指導をしている。
④自分を信じ、友だちを信頼する気持ち(心)を持つ。
ア・生徒を大切にしようとする声かけや指導をしている。
イ・生徒が自分のよさや特長に気づくような働きかけをしている。
ウ・係活動のなかで、協力態勢ができるように支援・指導している。

II 各指導部・領域等に関わること

大項目	中項目	評価指標	あてはまる			どちらかといえばあてはまる			どちらかといえばあてはまらない			あてはまらない			ポイント			グラフ		
			1st	2st	3st	1st	2st	3st	1st	2st	3st	1st	2st	3st	1st	2st	3st	1st	2st	3st
1 教育課程・学習指導	(1) 確かな学力の定着	⑤わかった、できた、もっとやってみたい等、授業で学びのおもしろさを感じる。	1	5	3	16	12	14	2	2	1	0	0	0	2.9	3.2	3.1			
		ア・復習を含む、授業の導入を工夫している。	4	7	6	12	10	11	3	1	1	0	0	0	3.1	3.3	3.3			
		イ・本時の課題(や問題)を提示し、生徒に学習の方向性を明確に示している。	5	6	8	11	6	8	3	7	2	0	0	0	3.1	2.9	3.3			
		ウ・確認テストに向けた計画作りや学習講座、テスト後の復習等学習習慣育成の支援をしている。	7	4	6	10	14	11	2	1	1	0	0	0	3.3	3.2	3.3			
	(2) 道徳教育の充実	⑥自他のよさを見つけたり認めあったりして、温かい集団をつくろうという意識を持って生活する。	1	4	3	18	14	14	0	2	1	0	0	0	3.1	3.1	3.1			
		ア・生徒が、自分のよさに気づけるように、称揚や励ましの言葉をかけている。	3	6	5	16	13	12	0	1	1	0	0	0	3.2	3.3	3.2			
		イ・生徒の努力や頑張り、よさを集団全体に伝え、共感しあう雰囲気をつくっている。	2	4	5	17	14	10	0	1	3	0	0	0	3.1	3.2	3.1			
		ウ・道徳コーナーをつくり、活用している。	3	7	3	12	6	11	2	5	4	1	0	0	2.9	3.1	2.9			
	(3) 特別活動の充実	⑦継続的・創造的に取り組み、縦割りの集団を通して団結力を高める。	1	4	5	14	14	9	4	1	3	0	0	1	2.8	3.2	3.0			
		ア・生徒会活動や行事等の活動の意義を伝えている。	2	8	8	15	9	6	2	3	4	0	0	0	3.0	3.3	3.2			
		イ・生徒一人ひとりに役割を与えることで、集団の中の一人としての自覚を持たせて、活動させている。	4	7	7	10	13	9	5	0	2	0	0	0	2.9	3.4	3.3			
	2 生徒指導	(1) 一人一人を大切に した指導	⑧教師や友だちとの関係の中で自分のよさに気づく。	2	5	5	18	15	12	0	0	1	0	0	0	3.1	3.3	3.2		
ア・生徒の変化を見逃さず、適時声をかけ、話を聞いている。			7	10	6	12	9	10	0	1	2	0	0	0	3.4	3.5	3.2			
イ・「しろやま」や教育相談等を通じて、生徒の思いの把握や声かけを常に行っている。			5	9	5	13	11	12	1	0	1	0	0	0	3.2	3.5	3.2			
ウ・生徒の家庭環境や友人関係を理解できるように情報交換をしている。			2	7	4	18	10	10	0	3	4	0	0	0	3.1	3.2	3.0			
エ・生徒の行動について学年部や学年間、必要であれば関係機関との情報交換をし、個にあった適切な指導をしている。			5	6	6	14	12	11	0	2	1	0	0	0	3.3	3.2	3.3			

3 進路指導	(1) 生き方を考える進路指導	⑨生き方を学び、自分の進路に対する希望と適性を考える。	1	2	3	15	15	12	3	3	3	0	0	0	2.9	3.0	3.0			
	ア・道徳・学活・総合的な学習や行事等の中で、生き方を考える機会を設定している。	1	6	4	17	12	13	1	2	1	0	0	0	3.0	3.2	3.2				
	イ・教育相談等を生かして、生徒の思いや希望をていねいに聴いている。	1	6	9	13	12	9	4	1	0	0	0	0	2.8	3.3	3.5				
	ウ・折に触れ、生き方や進路に対する指導や支援をしている。	1	5	4	12	12	13	6	3	1	0	0	0	2.7	3.1	3.2				
	エ・一人ひとりの将来を考えた個別の進路指導をしている。	0	2	3	11	11	11	8	5	3	0	1	1	2.6	2.7	2.9				
4 安全管理・指導	(1) 学校安全システムの構築	⑩校内の安全な環境整備の充実をはかる。	8	7	5	12	12	13	1	1	0	0	0	3.3	3.3	3.3				
	ア・毎月1回の安全点検を丁寧に確実にしている。	7	7	6	12	12	11	3	1	2	0	0	0	3.2	3.3	3.2				
	イ・点検での問題箇所について、速やかに修繕願いを出すなど改善に向けた努力をしている。	11	9	8	8	9	10	3	2	1	0	0	0	3.4	3.4	3.4				
	ウ・生徒が安全に登下校し、交通安全マナー・ルールが向上することを目指し、毎月の登下校指導をしている。	8	9	8	11	11	9	1	0	1	0	0	0	3.4	3.5	3.4				
5 保健管理・指導	(1) 健康教育の充実	⑪自分の健康を意識して生活する。	1	2	2	14	15	12	6	3	4	0	0	0	2.8	3.0	2.9			
	ア・保健だよりや専門委員による呼びかけを活用し、健康や環境衛生について意識させている。	0	3	2	14	15	15	5	2	1	0	0	0	2.7	3.1	3.1				
	イ・生徒の心の健康にも気を配り、必要に応じて適切な指導をしている。	2	4	4	15	15	12	2	1	2	0	0	0	3.0	3.2	3.1				
	ウ・養護教諭と連携し、心身の健康管理や環境衛生について、学級または個別に指導している。	2	5	5	12	10	9	4	4	3	1	0	1	2.8	3.1	3.0				
6 特別支援教育	(1) 学校の実態に応じた校内支援体制づくりの推進	⑫特別支援教育コーディネーターを中心に、個に応じた支援を進めると共に、学校態勢として機能していく組織作りを進める。	0	0	0	5	8	9	13	11	9	2	0	0	2.2	2.4	2.5			
	ア・特別支援コーディネーターを中心に、個に応じた支援のための学校(学年)組織が作られている。	0	0	0	5	8	9	12	9	9	3	2	0	2.1	2.3	2.5				
	イ・特別支援コーディネーターを中心に、個に応じた支援・援助が進められている。	1	0	1	5	9	8	10	9	9	4	1	0	2.2	2.4	2.6				
	ウ・特別支援対象生徒への個に応じた支援計画をつくり、学校(学年)体制の中で支援の記録を残すように進めている。	0	0	0	6	11	8	11	8	7	3	0	3	2.2	2.6	2.3				

7 組織・運営の改善	(1) ⑬PDCAサイクルを意識して活動する。	1	4	6	18	13	8	2	3	4	0	0	0	3.0	3.1	3.1			
	ア・自分自身が見通しを持ち、PDCAサイクルを意識して取り組んでいる。	1	4	5	16	10	10	4	6	4	0	0	0	2.9	2.9	3.1			
	イ・生徒が知らないことや教えるべきことをきちんと教えている。	4	4	5	12	14	8	4	2	5	0	0	0	3.0	3.1	3.0			
	ウ・生徒が見通しを持って活動できるように、継続的に指導している。	3	4	5	15	14	8	2	2	5	0	0	0	3.1	3.1	3.0			
	エ・生徒と共に活動し、見守り、見届けを行っている。	2	6	7	17	11	8	1	3	3	0	0	0	3.1	3.2	3.2			
8 研修体制の充実	(1) ⑭生徒の教科における実態を十分に把握し、生徒への対応力を磨く。	1	4	3	14	11	13	3	4	2	0	0	0	2.9	3.0	3.1			
	ア・基礎基本の充実を目指し、スクート学習に取り組んでいる。	6	8	9	10	8	9	2	3	0	0	0	0	3.2	3.3	3.5			
	イ・授業での生徒の姿や、授業前後のアンケート等から、生徒の教科の実態把握に努めている。	2	3	4	12	13	9	4	3	5	0	0	0	2.9	3.0	2.9			
	ウ・生徒の実態把握を授業改善につなげている。	1	5	4	11	11	12	6	3	2	0	0	0	2.7	3.1	3.1			
	エ・日々の授業実践や事後研修を通して、生徒への対応をふり返っている。	2	2	4	10	14	9	6	3	5	0	0	0	2.8	2.9	2.9			
9 信頼される学校づくりの推進 地域住民との連携	(1) ⑮地域の方に喜んでもらえる梅活動や地域あったか活動を推進する。	3	1	6	14	19	10	4	0	1	0	0	0	3.0	3.1	3.3			
	ア・それぞれの活動のガイダンスを行うことで、意義を理解させ、活動を充実させている。	5	3	6	11	16	9	5	1	3	0	0	0	3.0	3.1	3.2			
	イ・クラス毎の活動をする中で、生徒個々がより主体的な活動をしている。	4	3	6	13	13	8	3	4	4	0	0	0	3.1	3.0	3.1			
	ウ・地域に貢献することで、成就感や達成感を覚え、更なる活動に結びつけようとしている。	0	2	4	15	13	12	6	5	2	0	0	0	2.7	2.9	3.1			
	エ・活動毎の評価を丹念に行い、生徒が次の活動に生かせるようにしている。	0	1	1	11	15	14	9	4	2	0	0	0	2.6	2.9	2.9			
10 施設環境の充実	(1) ⑯自然環境や省エネルギーに配慮し、施設や設備の有効活用、資源の再利用に積極的に取り組む。	1	1	3	13	11	9	7	8	6	0	0	0	2.7	2.7	2.8			
	ア・環境問題や省エネルギーに関心を持って生活している。	1	1	4	11	10	12	8	9	3	1	0	0	2.6	2.6	3.1			
	イ・使用していない教室の電気の消灯、使用していない器具のコンセントを抜くようにしている。	4	1	6	10	11	11	7	7	2	0	1	0	2.9	2.6	3.2			
	ウ・印刷は必要枚数に留め、不用となった印刷物はリサイクル、リユースとする。	1	3	8	15	14	8	4	3	3	1	0	0	2.8	3.0	3.3			

I 経営の重点に関わること

1 学校教育目標：心豊かな 活力ある生徒		自己評価	学校関係者評価委員会から	
2 重点目標	自信を持って挑戦する生徒 ～「自分のよさを自覚し伸ばそうとする生徒」「互いのよさを認め励まし合う生徒」を通じて～	①自分の疑問や課題の解決を目指し、あきらめないで粘り強く取り組む。	B	重点目標に向かって、先生方が熱心に指導していただいております。4月頃には比べると生徒たちも自信を持って積極的に取り組む姿がうかがえます。 代議員会、各専門委員会、地域あつたか活動等、生徒たち自らが活躍できる機会をつくっていただいたおかげで、それに伴ったそれぞれの生徒が達成感を感じ、自分に自信を持つことができたのではないかと思います。生徒が主になって行う城山オリンピックでは生徒たちの生き生きとした表情が印象的でした。 長閑小から城山中へ9年制の一貫教育になる訳ですが、それはそれで良い点もあると思います。長所は認めて伸ばす指導をお願いします。 これからは更に高いレベルを目標に、今以上に様々な活動に取り組むようになってくれることを望みます。
		【学校説明】 教職員の指導と学習委員やクラスのリーダーの活動を通して、生徒は課題の解決に向けて努力した。他者の意見を聞こうとする意識も向上している。ただし、自分の意見を深める点については課題が残る。		
		②自分の役割を意識して充実感のある清掃活動ができる。	A	
		【学校説明】 職員が分担場所に清掃開始時刻以前に移動し、生徒達を迎える姿勢を示すことによって、生徒達も開始時刻を意識するようになった。また、作業内容を理解し10分間の活動時間を大切にしている姿勢は身についてきている。今後は、時間的なことだけでなく、自ら進んで工夫する、質の面での高まりをもたせるよう指導していきたい。		
		③生徒会活動や地域との活動の意義を理解し、自らの考えを持って取り組む。	B	
		【学校説明】 代議員会や毎月の専門委員会活動、地域あつたか活動などを通して、生徒一人ひとりが活躍できる場を意図的に与え、取り組むことが出来た。しかし、自ら考えさせることには弱く、取り組み方法の工夫が必要である。		
		④自分を信じ、友だちを信頼する気持ち(心)を持つ。	C	
	【学校説明】 生徒間の関係において、小学校からのお互いの関係の序列化や「あきらめ」、「無気力」などの言動が表面化している。大きな事件はないが、不登校や登校しぶりのなどの状況の分析が必要と思われる。			
	【学校関係者評価を受けての学校の改善策】 ①ルールを守り、他者の意見にしっかりと耳を傾けることができるような授業の実現を目指して、学習委員の活動を中心に全校で取り組みたい。②自ら進んで工夫しながら清掃作業に取り組めるように質の向上を目指し、活動を評価し改善策をうつつシステムをつくっていききたい。③どの行事においても一人一役で取り組み、特に地域あつたか活動において3年間見直しを立て、目的を持たせた活動を行っていききたい。④学校の考え、方向性について保護者に理解・協力が得られるように情報交換や意見交換の場を多く設定する。生徒間で意見交換が十分できる教育環境をつくる。			

II 各指導部・領域等に関わること

大項目	中項目	評価指標	自己評価	学校関係者評価委員会から	
1 教育課程 学習指導	(1)確かな学力の育成 【市共通項目1】	①わかった、できた、もっとやってみよう等、授業で学びのおもしろさを感じる。	B	B	わかりやすく、工夫された授業を行っていただいております。勉強への動機づけ成功していると思います。しかし、一部の生徒で理解不足、やる気不足が感じられました。また、自ら発言するような指導や競い合わせることで達成感を感じさせる指導をお願いします。
		【学校説明】 わかりやすく課題が提示された授業により生徒は落ち着いて学習に臨み、ときに達成感を得ることもできた。今後は、問題解決の道筋を自分の力で立てた後、意欲的な行動を起こして獲得する「学びのおもしろさ」を目指したい。			
		【学校関係者評価を受けての学校の改善策】 生徒自らが家庭学習の計画を立ててその記録を取り、復習を充実させる指導をすることで授業中の問題解決能力の向上を図りたい。また、集団の中で教え合い学び合う機会を設け、学習意欲を高めたり自分の考えを表現する喜びを体験させて、学ぶことのおもしろさを実感させたい。			
	(2)道徳教育の充実 【市共通項目2】	①自他のよさを見つれたり認めあったりして、温かい集団をつくろうという意識を持って生活する。	B	A	各学級に道徳コーナーを設け、心豊かな生徒への教育を実施していただいております。挨拶も積極的にできるようになってきたと思います。これからはソーシャルスキルを充実させるような指導もお願いします。
【学校説明】 道徳の授業や全校道徳等を通してお互いの考えを交流させ、自他の長所に気づく場面を設定した。計画的な道徳コーナーの展開や、ソーシャルスキル授業の充実といった点には、課題が残る。					
【学校関係者評価を受けての学校の改善策】 実態に即した全校道徳や学年道徳を強化していきたい。道徳コーナーにさらなる計画性を持たせたい。また、ソーシャル・スキルの充実を図るべく教員間の情報交換・共有を進めたい。					

	(3) 特別活動の充実 【市共通項目 3】	①継続的・創造的に取り組み、縦割りの集団を通して団結力を高める。 【学校説明】 城山オリピア、地域あったか活動、その他学年行事などを通して、教職員及び生徒会本部役員がそれぞれ役割を自覚し、団結力を高めることができた。しかし、生徒自ら創造的に取り組む部分では、改善が必要と考える。 【学校関係者評価を受けての学校の改善策】 事前準備を確実にし、行事に思い入れを持つ取り組みを行っていききたい。そして、集団への思いを強く団結力につなげていきたい。	B	B	様々な活動を通し、学年を超えて生徒たちの仲は良く、全体的にまとまっていると思います。しかし、一部のクラスではやや団結力に欠ける部分もみられました。
2 生徒指導	(1) 一人一人を大切に した指導 【市共通項目 4】	①教師や友だちとの関係の中で自分のよさに気づく。 【学校説明】 道徳や行事を通じて、他人のよさに注目する指導を展開してきたが、その成果については、疑問がもたれる1年であった。人のために働くことや支え合いに欠ける場面が多い。 【学校関係者評価を受けての学校の改善策】 生徒のよさや考え・意見が生かされるように生徒のよい行動を認め、伸ばしていく指導を継続していく。	B	A	生徒たちの良い取り組みを学年だよりや学級だよりで紹介したり、部活動等の受賞を学校集会で紹介したりと自分のよさに気づき、自信を持たせる指導をしていただきました。これからは誉める指導をよろしくお願いします。
3 進路指導	(1) 生き方を考える進 路指導	①生き方を学び、自分の進路に対する希望と適性を考える。 【学校説明】 教育相談、家庭訪問等を通して家庭環境や生徒個々の思い、悩みを把握し、生徒理解に努めることが出来た。また授業や講演会を通じて、卒業後の進路や職業観など生き方指導に努めることが出来た。しかし、より三年間を見通した計画を作成し、充実させていくことが課題である。 【学校関係者評価を受けての学校の改善策】 計画的な進路指導を行い、講演会や職業体験を通して、生徒に具体的な目標を持たせていく指導をしていきたい。	B	A	講演会や職業体験により将来の職業観をもたせていただきました。具体的な目標ができることで勉強にやる気がでてくれることを期待します。
4 安全管理・指導	(1) 学校安全システムの 構築 【市共通項目 5】	①校内の安全な環境整備の充実をはかる。 【学校説明】 月ごと安全点検を実施し、設備の保守点検を行った。また、防災訓練や不審者対策研修を実施し、緊急時に対応する体制を整えることができた。今後は定期的な安全点検は継続し、緊急時対応に関する研修等で学んだ内容を更に充実させていくよう取り組んでいきたい。 【学校関係者評価を受けての学校の改善策】 関係機関と連携し、不審者対策訓練(生徒対象)の実施などの対策をさらに充実していきたい。	A	A	毎月校内の安全点検を実施していただき、学校環境は数年前に比べだいぶ改善されています。今後は不審者対策を充実させていただきたいのですが、学校へ保護者が来にくくならないようお願いします。
5 保健管理・指導	(1) 健康教育の充実 【市共通項目 6】	①自分の健康を意識して生活する。 【学校説明】 専門委員会活動は高めることができた。また、生徒自らが自分の健康管理に対して関心を持ち、実行できることを具体的に考えるようになってきている。今後は、委員会の動きを広報活動を通して全校に広め、健康管理に対する意識を高めていくと共に、行動として見える活動を推進していきたい。 【学校関係者評価を受けての学校の改善策】 ①生徒の実態調査をもとに、意識改善を図るための具体策を提案していきたい。朝食摂取調査や治療完了見届けなど身近な問題に目を向けさせながら、健康に対する意識改善を図っていききたい。	B	A	専門委員が中心になり活動したため、健康管理に対し意識が高くなった生徒が増えています。朝食を食べてくる子の割合が高くなるなど、成果が出ています。親たちの意識を啓蒙できればより良い成果を得ることができると思います。
6 特別支援教育	(1) 学校の実態に応じ た校内支援体制づく りの推進 【市共通項目 7】	①特別支援教育コーディネーターを中心に、個に応じた支援を進めると共に、学校態勢として機能していく組織作りを進める。 【学校説明】 「連絡会」を週1回行い、支援を必要とする生徒の現状報告や支援策を話し合い、指導に生かしている。「連絡会」ではスクールカウンセラーや相談員との意見調整も併せて行っている。個々の生徒にどのような指導がなされているか職員が周知できるような記録を積み重ねていく必要がある。 【学校関係者評価を受けての学校の改善策】 連絡会で出た話題や意見を各学年とも確実に伝え、情報を共有し指導に生かしていきたい。	B	A	連絡会を週1回実施しており、支援対象生徒への迅速な対応ができています。

7 組織運営	(1)組織・運営の改善 【市共通項目8】	①PDCAサイクルを意識して生活する。 B 【学校説明】ステージ制を導入し、ステージ毎の目標作り・評価、次ステージへの新たな目標等を確実に 行った。諸活動では、生徒がPDCAサイクルを意識して取り組むまでできていない。生徒が見通しを持つ には、教師自身が先を見て生徒に指導していくことが必要である。三部長会から全体の職員へ理念を浸透さ せ、ステージ制を生かした評価・計画を、生徒への的確な指導につなげていきたい。 【学校関係者評価を受けての学校の改善策】ステージ毎の取り組みは継続し、生徒が着実にステップアップする ような支援をしていく。分掌部会等の職員の話し合いの中で生徒への指導をどのように行うかを取り上げ、 生徒がPDCAサイクルを意識して活動できるように指導していく。	A 年間を4ステージ制にし、PDCAサイ クルで学校運営をしていただきました。1 サイクルが短いため、生徒たちに刺激が あってよいと思います。
8 研修	(1)研修体制の充実 【市共通項目9】	①生徒の教科における実態を十分に把握し、生徒への対応力を磨く。 B 【学校説明】学ぶ喜びのある工夫された研究授業の実践があり、他者の授業から自身の授業を改善する ヒントを得ることができた。今後は教科の垣根を越えた情報交換をもっと増やし、研修記録のまとめにも取り 組みたい。 【学校関係者評価を受けての学校の改善策】授業を通して、あるいは、他教科での子供たちの実態等なども把握して 生徒理解を深めていく。更に学校内外における各研修を通して視野を広げ、「わかりやすくおもしろい授業の実 践」を追求していきたい。	A 先生方の授業に対する工夫が随所に見 られ、研究授業の成果が出ていると思 います。これからも、今まで以上にわ かりやすく、面白い授業をお願いします。
9 保護者・地域住 民との連携	(1)信頼される学校づ くりの推進 【市共通項目10】	①地域の方に喜んでもらえる梅活動や地域あったか活動を推進する。 B 【学校説明】梅園管理委員会、成澤さんを始めとして地域の方々に支えられた活動で、一定の成果を上げて いるが、今後はより生徒の主体的な活動にしていきたい。 【学校関係者評価を受けての学校の改善策】梅活動、地域あったか活動、資源回収他、本校の学校行事が、 地域の方々の協力に支えられています。今後は、梅園の 下草刈りや、ボランティア活動に、生徒がより主体的に関わる場面を多くつくっていききたい。	A 梅祭りや地域あったか活動などは地元 の人にとっても好評です。また、資源回収では 休日にもかかわらず多くの職員に手伝っ ていただきました。ありがとうございます。 地域との結びつきは大変うまくいっ ていると思います。
10 施設設備	(1)教育環境の充実	①自然環境や省エネルギーに配慮し、施設や設備の有効活用、資源の再利用に積極的に取 り組む。 B 【学校説明】ゴミをきちんとまとめること、アルミ缶集め、こまめな消灯を心がけていた。また、施設、設 備の改善・整理に取り組み、生徒が利用しやすい環境を目指したが、予算面が課題となり、今後も改善への 取り組みが必要である。 【学校関係者評価を受けての学校の改善策】こまめな消灯やアルミ缶集めの取り組みを継続し、雑紙をリサイクルに 回すなどによりゴミの分別を推進し、ゴミの減 量に努めたい。	A 昨年度以来、学校内がとてもきれいにな ってききました。これからもよろしく お願いします。

学校から 経営のまとめ

<p>1 学校から 経営のまとめ (成果と課題)</p> <p>学校改善に学校評価システムを生かすように今年度ステージ制を導入し、PDCAサイクルをステージに合わせてまわすようにした。生徒に対して ステージの目標を持ち、取り組みを評価し、次へ生かすことを確実にを行った。職員も評価やアンケート結果の分析に取り組むことが日常的にできるよ うになった。職員の組織も生きてきて、独自の活動を提案し成果をあげることができ、互いのりしろもできてきた。ボランティア活動に自ら参加す る生徒が見られるようになったり、成人教育講演会等に参加する保護者が増えたり、親子とも少しずつ愛校精神が芽ばえてきていると感じる。 序列化された生徒間の人間関係を改善していくこと、保護者の協力をさらに高めて生徒の成長につなげることが課題である。今後はC：チェックの 後のA：アクションをよりよいものにしていきたい。また、多様なあらわれの生徒に対応していくための教育相談や特別支援の体制をしっかりとしてい きたい。</p>
<p>2 学校関係者評価の意見を受けて (改善策)</p> <p>PDCAを生徒も教師も実践する。特に、教師は評価を次の活動に活かすために、せつかく出した評価について生徒に対して説明や話し合いをさせ 考えさせる場面を大切にしたい。 「自信を持って挑戦する生徒」は自己表現を伸ばすことと、具体的な実践をさせたい。ボランティア精神と愛校精神に繋げたい。 教師の姿勢は「教える」、「共に活動する」を通じて、生徒への信頼を高めたい。また、「アイディアと実践」を生徒と共有し、レベルアップを図 りたい。 部活動など少人数でも組織化や高め合いを重視したい。また、教師の保護者もその指導・支援に厳しさや温かさをもっていきたい。 生徒の狭い見識を打破する意味でも、外部講師による授業や講演等を導入したい。また、道徳やソーシャルスキルにも本格的に力を入れたい。 保護者や地域住民の学習する場を創っていききたい。</p>

学校関係者評価委員会まとめ

<p>私は一応学校関係者評価委員ですが、普通の保護 者の立場で学校、生徒、先生方を一年間拝見させて いただきました。 現在の城山中学校は授業、様々な活動、部活動と もとても落ち着いていて、とても良い学校です。そ れは校長先生をはじめ、先生方のご指導のおかげだ と思います。これからは、生徒たちがさらに積極的 に様々なことに取り組むようになり、より元気になる ことを望んでいます。悪いところは厳しく叱り、 よかったところは大きめに誉め、達成感のある充実 した中学校生活になるよう、熱いご指導をお願いし ます。 複数の小学校から集まった中学校でも半年～1年 経てば自然に序列化が生まれると思います。勉強で も運動でも序列化を破壊してやる指導をお願いします。 長い一生には逆転もある訳で、自分で努力し競 うことで何かが変わることを知るのとは大切なことだ と思います。</p>
